



皮膚科のご紹介

皮膚科は常勤3名、非常勤3名で診療を行っており、各医師の専門分野を活かして専門性の高い医療を提供しております。

皮膚良性腫瘍・悪性腫瘍の手術から、皮膚リンパ腫、ATLを含めた化学療法のほか、乾癬・アトピー性皮膚炎については県内の中心施設として診断から生活・スキンケア指導、生物学的製剤による治療、更によりマチ科をはじめとした院内他科との連携による合併症の治療まで行っております。水疱症や血管炎からフットケアまで、様々な皮膚疾患に診療できる体制となっており、薬疹、蜂窩織炎、带状疱疹などの入院が必要な患者さんにも迅速に対応いたします。



皮膚科医師とスタッフ

当科で行っている主な治療

手術

基底細胞がん、有棘細胞がんなどの皮膚悪性腫瘍、表皮のう腫、脂肪腫をはじめとする良性腫瘍について、単純切除から植皮術、皮弁形成など日帰りや必要に応じて入院・全身麻酔でも手術を行います。



手術の様子

光線療法

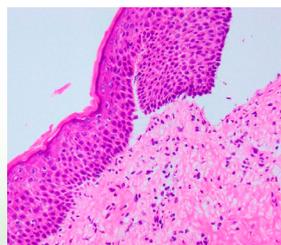
全身型、ターゲット型の紫外線照射装置を備えており、乾癬やアトピー性皮膚炎、円形脱毛症、尋常性白斑などに対して光線療法を行なっています。最近、オクソラレンによる前処置が不要で、限局型強皮症や皮膚リンパ腫にも高い効果が期待できる、最新のUVA1照射装置を導入しました。



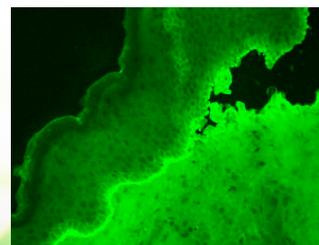
UVA1照射装置

専門的病理診断

病理専門医と皮膚科専門医が全ての病理組織を院内で診断しています。また自己免疫性水疱症(天疱瘡、類天疱瘡など)や皮膚血管炎については、病理診断科の協力により、診断に必要な病理組織の蛍光抗体直接法まで院内で施行可能な体制を構築しており、診断から入院加療まで一貫して行います。



HE染色



蛍光抗体直接法

裏面に続きます ▶

自由診療

保険診療のみでは十分な改善が得られない症例や、皮膚疾患の治療上必要な症例を中心に、自由診療も行っています。酒渣や、ざ瘡(ニキビ)癬痕などに対するレーザー治療のほか、アトピー性皮膚炎などで肌が弱くカミソリまけをしやすい患者さんや、毛巣洞の患者さんを対象としたレーザー脱毛を行っています。



レーザー治療

往診

在宅診療の主治医の先生からのご紹介により、褥瘡などの患者さんの自宅に往診(火曜日・水曜日の午前中)し、診察および訪問看護スタッフへの処置指導を致します。

医療機関の皆様へ

近年、皮膚科領域でも様々な新薬が開発され、重症のアトピー性皮膚炎や乾癬など、これまで治療に難渋していた患者さんにも高い治療効果が得られるようになってきました。一方で、これらの疾患、特に乾癬においては、全身性炎症により関節炎、動脈硬化、糖尿病、肝繊維化など様々な合併症が起こることが明らかになってきました。当院では、総合病院のメリットを活かして、他科と緊密な連携をとりながら皮膚疾患患者さんを全身的に診療し、皮膚症状のみでなく、合併症の治療、予防にも取り組んでおります。



皮膚科 主任部長 米倉 健太郎

手術、一般皮膚科疾患、入院・往診依頼を含め、なんでもご相談ください。

皮膚科 外来診療担当表

	月	火	水	木	金	土	
午前 8:30~11:30	①	武田	米倉	米倉	武田	佐藤	急患対応のみ
	②	佐藤	馬場	武田	玉井	玉井	
	③	-	-	玉井	有村	-	-
	手術 術前・術後診察	米倉 玉井	-	-	-	武田 米倉	-

外来診療は予約制です。ただし、急患はこの限りではありません。
検査・手術のため、午後の外来診療はありません。

患者様ご紹介の流れ(皮膚科外来の場合)

今村総合病院は、地域の先生方ならびに在宅医療との連携をさらに強化し、安全・安心で高度な医療をいつでも提供できるよう日々診療を行っています。

紹介状

患者様へ紹介状(診療情報提供書)をお渡してください。
※当日の診察や入院依頼など、緊急の場合はお電話ください。

当院受診当日、下記「当日の持ち物」をお持ちの上、A棟1階総合受付にお越しくださるよう患者様へお伝えください。

当日の持ち物

・紹介状原本 ・保険証またはマイナンバーカード ・その他患者様に関する診療情報

電話予約

患者様へ直接当院代表に予約のお電話をしていただくようお願いいたします。
ご連絡内容をもとに予約手続きを進めます。(ご紹介に紹介状のFAXをお願いする場合があります)

皮膚科専用FAX 099-202-0208



皮膚科の
詳しい情報は
こちら

患者様の受診後、担当医よりご紹介元の先生へ診療情報提供書にてお返事を申し上げます。

ご連絡・お問い合わせは当院代表 099-251-2221 までお気軽にお問い合わせいたします